

科目区分	専門教育科目	授業科目名	乳児保育Ⅱ				科目コード	25Y310	担当者	三原 ミヨ子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修			
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	乳児保育Ⅰの講義で学習した理論を実践していくための指導を行う。乳児保育Ⅱの演習等では小児看護学の経験を活かした授業を実践。									科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	0～2歳児の心身の発達過程や特性を確認し、保育者の援助や関わりの実際について学ぶ。							課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出物は内容を確認後、授業で紹介・活用する。グループでの課題発表について教員によるフィードバック、コメントを行い、全体で共有する。				
授業の方法	教科書、視聴覚教材、資料等を用いながら講義・演習を行う。グループワークやディスカッションを行い、その結果を発表し意見を交換し合う。							アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内容に応じて適宜YouTubeを活用したオンデマンド授業や協働学習、調べ学習などを取り入れる。Google classroomの活用				

回数	授業計画							事前・事後学修				
第1回	オリエンテーション		乳児保育の基本					事前：教科書192～195ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する。		
第2回	子どもの援助の実際 生活と遊び①（抱っことおんぶのしかた）							事前：演習についての事前資料を読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する。		
第3回	子どもの援助の実際 生活と遊び②（沐浴のしかた、清潔ケア、おむつ交換）							事前：教科書222～225、364～365ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する。		
第4回	子どもの援助の実際 生活と遊び③（調乳と授乳のしかた、離乳食について）							事前：教科書222～225、362～364ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する		
第5回	子どもの援助の実際 生活と遊び④（乳児の遊びと実践）							事前：教科書366～373ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する		
第6回	0～2歳児の保育計画（長期的な指導計画と短期的な指導計画）							事前：教科書202～209、326～331ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する		
第7回	集団での生活における配慮							事前：教科書302～305ページを読む		事後：資料、各自のノートを参考に復習する		
第8回	これからの乳児保育の課題・振り返りとまとめ							事後：資料、各自のノートを参考に復習する				

事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回
---------------------------	-----------

教科書 [書名/著者名/出版社]	新基本保育シリーズ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ/寺田清美 大方美香 塩谷香/中央法規	受講生への メッセージ	核家族化、少子化が進み、約30年前と比べ子どもと家庭を取り巻く状況が大きく変化してきたといわれます。多様な保育の場における現状と課題について理解し、保育士としてのかかわりや確かな技術を身につけていけるよう学びを深めていきましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	保育所保育指針/厚生労働省/チャイルド本社、よくわかる保育士エクササイズ 乳児保育演習ブック/松本峰雄 池田りな 才郷真弓/ミネルヴァ書房		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点学修成果の 学修成果の (%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)
観点	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	創造	③ 知識														
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力	60			10	50	乳児保育の課題について理解し演習することができる。	理解力、思考力	受講態度、発表内容	乳児保育の課題について、積極的に取り組み、問題解決をおこなうことができた。	乳児保育の課題について、問題解決をおこなうことができた。	乳児保育の課題についておむね問題解決をおこなうことができた。	乳児保育の課題について、取り組もうとしていたが問題解決できなかった。	乳児保育の課題について取り組み方が不十分であった。	
		⑦ 言語活用能力	40		40			乳児保育の現状と課題について理解し説明できる。	文章力、思考力	課題レポート、提出物	乳児保育の課題について文章で的確に表し、他者に説明できる。	乳児保育の課題について文章で表し、他者に説明できる。	乳児保育の課題について文章で表すことができる。	乳児保育の課題についておむね文章で表すことができる。	乳児保育の課題について文章で表すことが不十分である。	
	実践	⑧ コミュニケーション力														
		⑨ 主体性														
			⑩ 協働性													
合計			100		40	10	50									